

ばら通信

2011.08.20発行

〒010-1638 秋田市新屋表町8-5

☎018-828-7750 Fax018-828-8185

社会福祉法人グリーンローズ

「ことば」の教室
オリブ園
インクル

二学期



二学期が始まりました

オリブ園 施設長 後藤 進

暑い夏が続きました。昔はこんなに暑くなかったような気がしますが、そのかわり、エアコンやクーラーもなかったもので、そんなに違わないのではないのでしょうか。『熱中症』ということばは1990年代から表に登場し、しばらく日射病や熱射病等と併用し、しだいに熱中症が基本的なことばになってきたようです。医学的には細かな面で違うのかもしれませんが、暑さにやられることを総称したことばのように思います。子どもの頃にマラソンをしたり、山登りのときは、水分をとるとおなか痛くなったり、体力が無くなったりということで、できるだけのまないようにしようというのが私などの仲間では暗黙の約束でした。今から考えると大変無茶だったなと思います。今はしっかり水分をとり、熱中症を熱中症を予防しなければなりません。まだまだ暑さが残っていますので、くれぐれも注意して欲しいと思います。

二学期が始まります。長い二学期ですが、様々な楽しいことを経験できる季節とも言えます。自然と一緒にになっておおいに楽しみましょう。創設者である片桐格先生が、社会福祉法人名を「グリーンローズ」と名づけましたが、かなり考えられたようです。グリーン＝緑という色は現在人間の網膜にもっとも刺激の少ない色だということが分かっているそうです。生物、特に、そして虫などが、かつて海から陸上に上がる時、陸には膨大な植物があり、海からの動物を迎えたわけです。そして生命はその緑の世界と共に膨大な時間を過ごした歴史であると言われています。（『生命40億年全史』リチャード・フォーティ）緑の優しさを私たちの胸にもって、やがて、様々な色づく季節を元気に過ごしていきましょう。この大地の不思議さ、生命の不思議さを子どもたちと一緒に感じてほしいと思います。

福島の子どもの支援に必要な子どもたちについて

福島第一原発の事故以来、福島の子どもたちは大きな厄災の中におります。決して起きないと言われ続けた事故が起きました。浜通りと言われる地域の家族は、全国に避難しましたが、特に支援の必要な子どもたちと一緒に家族にとっては、避難所暮らしが大変だったと聞いています。避難所という過酷な生活環境の中で、生活することが難しく、車の中で暮らしたりしたと、おおよそ避難所では見つけることが出来なかったというお話も聞いています。浜通りの家族は、全国への避難とともに、福島県の中通（郡山、福島他）地区、会津地区に避難しています。中通地区は運動場や園庭の線量が高く、校庭や園庭の土を掘り起こしたとしても、その土の処分に困っています。そうした意味でもまだまだ外遊びに不安が残っています。会津地区は線量が低くそうした不安は比較的少ないのですが、支援の必要な子どもたちを受け入れる余裕が多くありません。こうした状況に対し福島県は事業を立ち上げました。南相馬地区と会津若松地区の両方に、支援の必要な子どもへの支援の場所を作ることにしたのです。一応平成24年3月31日までです。オリブ園の参加している全国発達支援協議会は、会津若松市の支援を行うことになり、会津地区のたくさんの方々の応援の中で、8月1日に開所しました。少しずつ子どもたちも集まり、軌道に乗りつつあります。少しでも家族と子どもたちの安定が訪れ、豊かな支援が出来るよう願っています。

はまっ子くらぶは会津若松市日新町にあり、そこには日新小学校もあります。 オリブ園 施設長 後藤進



お知らせ

第17回全国難聴者・中途失聴者福祉大会in あおもり
10月8日～9日青森グランドホテル
記念講演Ⅰ ドナ・ソーキン氏
記念講演Ⅱ 長瀬修氏



ドナ・ソーキン氏
コクレアアメリカ社
副社長



長瀬修氏
東京大学特任准教授
障害のある人の権利の条約 仮訳

何かありましたら誰にでも連絡・相談

E-mail olive@kodomo-sekai.com
ホームページ <http://www.kodomo-sekai.com>